

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 マジョリティ・ブラック	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.570	△RG 0.035	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：マジョリティ・ブラック

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番

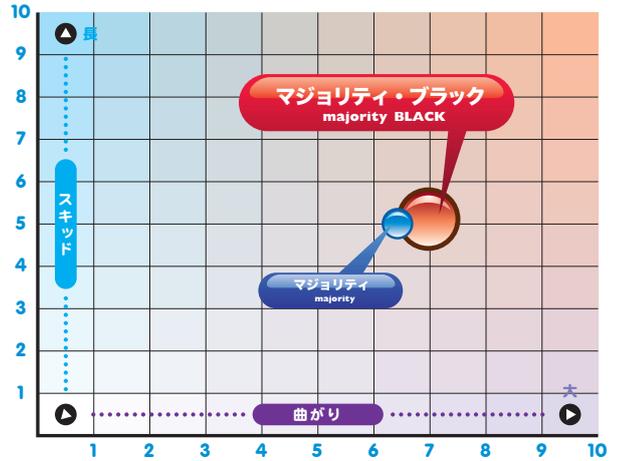
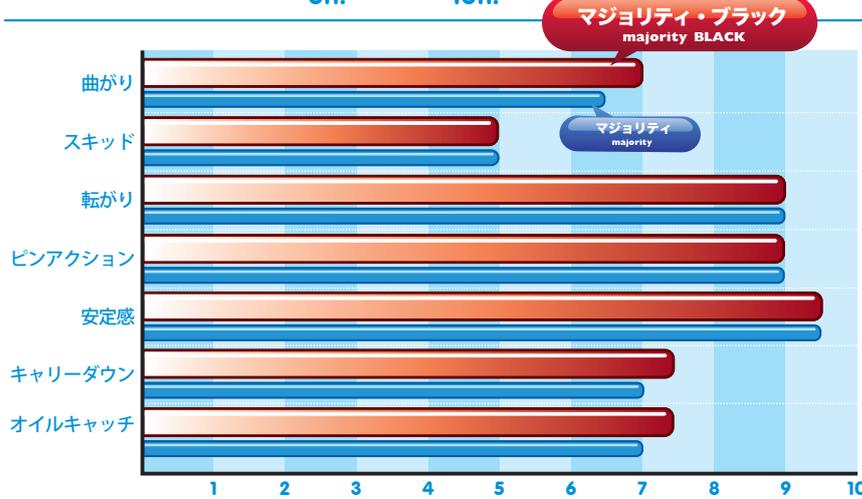
比較対照ボール：マジョリティ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番



ボールの評価

RANGERからフルモデルチェンジした初代majorityはテストングしたプロの評価が高く、発売前から注目が集まり、皆さんも迷っているうちに完売して購入を逃した方も多いと思います。majorityのようにミッドプライスながらスキッドの中に質の高いキャッチを伴い、メリハリ感のあるリアクション性能は市場でもなかなかお目見えすることはなく、価格帯とは釣り合わない素材の良さとレベルの高い仕上がりということが多くのユーザーに受け入れられたということだと思います。今回発売するmajority BLACKは、カバーの素材そのものは変えずに配色をBlackに変更し、Pearlの配合比率を変えてリアクションそのものに変化を与えています。私の投球した感じだと、初代majorityと比べmajority BLACKのほうがブレーキの効き目が早く、曲がり始めがやや早く感じます。しかし走りそのものを邪魔することのないブレーキ感で、早めにブレーキがかかってもしっかりと奥で動くイメージはそのまま継承されているので、初代majorityよりややキャッチが強く曲がるイメージがあります。

これぐらいしっかりと性能を発揮できるスペックだと、初代majorityでも思いましたがEMPERORやINVADERの次に使うボールとして留まることなく、ドライなポイントが見えるコンディションであればしっかりとラインが取れるのではないと思うほどmajorityシリーズの出来栄はこのクラス最高峰だと思います。この領域はプロレベルやアマチュアのトップレベルではミディアムコンディションのメインボールとして。女性の方からビギナーまで幅広いクラスをカバーし、しっかりとパフォーマンスを確約できる自信作です。軽量対応で10ポンドから用意できますので、ステップアップからシニア層で1ランク上のボールを探している方はこのタイミングでmajority BLACKはぜひおススメしたいボールです。

特記事項

majority BLACKはこのクラス最高峰と言えるほど贅沢な素材を使い、掛け値なしでパフォーマンスを追及しているモデルです。ミディアムからやや遅めになってきたコンディションで他を寄せ付けない性能を発揮します。